

a c c e s s m a p

◆ 周辺地図 ◆



【 天生県立自然公園に関するお問い合わせ 】

河合村森林組合

〒509-4301 岐阜県飛騨市河合町角川324
TEL/FAX 0577-65-2208

【 事務局に関するお問い合わせ 】

天生県立自然公園協議会事務局

[河合振興事務所 産業建設課内]
〒509-4392 岐阜県飛騨市河合町角川223-1
TEL 0577-65-2383 / FAX 0577-65-2179

[白川村役場 産業課内]

〒501-5692 岐阜県大野郡白川村湯谷517
TEL 05769-6-1311 / FAX 05769-6-2016



白川村・飛騨市

天生県立自然公園

天生県立自然公園



知るこころから感じることへ……

—原生林へのいざない—

天生県立自然公園の自然の様相は、天生峠を境として南北で異なる特徴を見せています。

峠より北側では、林業・営(かや)の採取など、人と自然の営みにより形成され維持されてきた自然環境と景観が広がっています。対比的に峠の南側では、人の手がほとんど入っていない天然林や原生林が広がっています。

天生峠は、その異なる自然景観の違いを比較して体験できる場であると同時に、この奥に広がる原生林への玄関口でもあります。

原生林はこれまで人の手が入っていない極めて貴重な自然環境です。しかし、その貴重な自然環境も利用者のちょっとした不注意や、心ない行為で、いともたやすく壊れてしまいます。

ここより奥は、森とそこに住む生き物たちが主人公です。森へ足を踏み入れる前に、今一度あなたも生き物としての原点に立ち返って謙虚に自然を探訪するよう心がけてください。

そして、この自然環境を私たちのかけがえのない財産として恒久に保全し、未来に伝えていきましょう。

整備された歩道も不用意に逸脱したり、木道から湛池に踏み込まないで下さい。

歩行中のタバコは禁止です。

タバコの吸い殻、ゴミ、空き缶などはすべて持ち帰して下さい。

駆除剤(山梨・キノコを含む)は禁止。採取しないで下さい。

登山をされる方はしっかりとされた装備をお願いします。

猿・熊塚山へは、生態系保護の観点から登山道は整備してありません。

ベットの連れ込みは、自然体系に影響するため、禁止されています。



天生県立自然公園

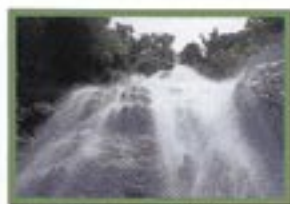
戦国時代の武田、大野源右衛門村と奥平河合町にまたがる天生峠。一年の半分近くを雪に閉ざされるこの峠は泉鏡花の小説『武野燗』にもその名が登場します。

天生県立自然公園は、この天生峠を中心に、高山植物が咲き乱れる高層植群、その奥へ続く広大なブナの原生林、深く切れ落ちた渓谷とそこにかかる滝など、変化に富んだ雄大な自然を体験することができます。

また、その自然にはエネスコの世界遺産に登録された白川郷合衆集落もありません。忘れられようとしている日本の森林文化、民衆の記憶がここには残っています。

私たちはこの自然と文化をいつまでも大切に守り育てていきたいと思っています。そしてこの地を訪れる多くの人たちにも、そのすばらしさを感じてもらいたいと考えています。私たちのふるさとが、いつの日かこの地を訪れるみなさんのふるさとにもなるように。

天生県立自然公園 探勝マップ



天生三滝 (写真は高滝)

天生峠付近に源を発した流れは、やがて急峻な渓谷となって一気に山腹へ駆け下ります。中滝(落差約20m)木滝(約10m)は道路からも近所に眺めることができます。高滝(落差約50m)は国道から滝の上流を眺望することができます。

紅葉の時期がお勧めですが、駐車場はありません。対向車、踏切等には十分注意して下さい。



天生湿原

ブナ等に囲まれた高層湿原。県の天然記念物にも指定されています。

春の雪解けの時期にはミズバショウやリュウキンカが咲き誇る光景は見事です。

湿原の内部にはイヌツゲ等の低木が復元し始めており、湿原の再生が進みつつあります。

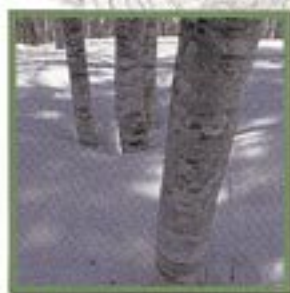


— 公園区域
— 車道(国道360号線)
— 歩道



カラ谷原生林

天生湿原からさらに奥に足を踏み入ると小さな流れを横切ります。この谷はさらに上流で伏流することからカラ谷と呼ばれています。歩道が交差するカラ谷分岐付近には、カツラやサワグルミを主体とする原生林が広がっています。



ブナの原生林

ブナの原生林は天生県立自然公園を代表する樹景観の一つ。天生湿原の周辺、カラ谷から少し登った歩道沿いが見事です。沢沿いのしめった土地にあるカラ谷の原生林との違いを観察してみましょう。



木平湿原

なだらかな尾根の頂上部付近に木平湿原があります。天生湿原と異なり周囲に山や広範囲の森は無く、なぜここに湿原ができたのかはよく分かっていません。

湿原の中には小丘が点在し、小規模な美しい湿原景観を保っています。



初穂山から木平を望む

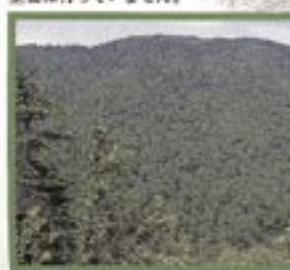
その名のとおりに初穂が獲もったような特徴的な山頂部を持つ初穂山からは、公園のほぼ全域、そして北アルプスや白山連峰も眺望することができます。

登って来たルートを下り、どこにどのような樹木が生えているのかを観察してみましょう。

猿ヶ馬場山

天生県立自然公園の最も奥にそびえています。初穂山から近距離で雄大な景観を楽しむことができます。峰にその山腹斜面には標高や地形、季節の気候との関係から森林種相が微妙に変化していることが観察できます。

初穂山から先のこの山域には生態系の保護を最優先させるため、登山道の整備は行っていません。



コースタイム・注意事項

- 湿原探勝路** 天生峠駐車場→(40分)→天生湿原→(10分)→カラ谷分岐
- 木平探勝路** カラ谷分岐(初穂山登山道経由)→(90分)→木平湿原→(30分)→カラ谷分岐
木平からの下りは急坂となります。足下に注意して下さい。また木平周辺は地形が平坦なため悪天候の際などは道に迷わないよう注意して下さい。
- 初穂山登山道** カラ谷分岐→(60分)→木平分岐→(30分)→初穂分岐→(30分)→初穂山
- ブナ探勝路** カラ谷分岐→(90分)→初穂分岐
カラ谷からの登りは急登となります。初穂山からの下りに使用する場合、初穂分岐でルートを開通しやすいので十分注意して下さい。
- 猿ヶ馬場山** 生態系の保護のため登山道は整備してありません。初穂山から尾根伝いに踏み跡がありますが、しばらく下ると無くなります。安易に踏み込まないよう注意して下さい。

※コースタイムはあくまでも一般的な目安です。各自の体力、技術、経験に応じて、ゆとりを持って行動して下さい。また自然公園はクマの生息地です。登山等の際には十分注意して下さい。